

大臣折衝事項

令和8年度外務省予算について、国際情勢が一層厳しくなる中、国益を守り、国際社会でより存在感を高めるべく、以下のとおり重点的な予算措置を行うこと。

- ・激変する国際社会において、我が国の安全保障環境が厳しさを増す中、同志国の安全保障能力・抑止力を向上させ、我が国にとって望ましい安全保障環境を創出する観点から、特にO S Aの拡充のための予算を大幅に拡充すること。（30億円追加し、総額181億円）
- ・特に、J I C A海外協力隊発足60周年の節目であることも踏まえ、ODAによるグローバル・サウス諸国との連携を一層強化するとともに、日本企業の海外展開を支援し、サプライチェーン強靱化を始めとする経済安全保障等の重要政策課題にも対応すべく、物価高の影響も踏まえつつ、無償資金協力及びJ I C A運営費交付金等を拡充すること。（26億円追加し、総額3,031億円）
- ・国家のナラティブやイメージをめぐる競争が激化する中、偽情報の拡散を含む外国からの情報操作に対抗すべく戦略的対外発信を含む情報戦対応（システム整備を含む。）を進めるとともに、我が国による発信を前向きに受け止める土壌を醸成すべく、人的交流を含む文化外交予算を抜本的に強化すること。（15億円追加し、総額250億円）